

基礎セミナーB  
オペラの魔力とは何か

# 目次

- 講義の目的と狙い
- 授業内容
- 授業の進め方(1)
- 授業の進め方(2)
- 発表に対するコメントについて
- レポートについて

# 講義の目的と狙い

「オペラの魔力とはなにか？」をテーマに、「調べる」、「書く」、「討論する」、「発表する」能力を身につける事を目的とします。

「人とは異なる視点を持つ」習慣を身に着ける。

オペラを通して、その題材となっている時代と社会的背景、人間関係およびオペラそのものについて、調査をもとに発表と討論の仕方を身に着けます。

自分の意見を正確に相手に伝える事、人の意見をきちんと理解する力を見に漬ける。

調査結果をレポートとしてまとめる力をつける。

オペラは、音楽、演劇、舞踏、美術、衣装など全てを含んだ総合芸術

# 授業内容

- 基本テーマはオペラにおける人間の性(サガ)に関するものである。
- 特に人間関係で現れる負の部分に焦点を当てる。
- **嫉妬**: トスカ(プッチーニ作曲): 愛と嫉妬と裏切りが渦巻く世界。展開される人間関係とその時代の権力の構図について考える。
- **裏切り**: エウゲニ・オネーギン(チャイコフスキー作曲): 青春の人間模様と、そこに展開される恋と友情と裏切りについて考える。
- **浮気**: こうもり(ヨハン・シュトラウス作曲): 浮気や背徳をテーマにした喜歌劇は多い。その意味するものは何なのか? 時代背景や社会情勢と共に考える。

# 授業の進め方(1)

15回の授業時間を5回ごとに3つに分けて、各々に対して調査、発表、討論を行う。

受講者は1グループ4人の3グループに分けて、各々のグループ内で、発表のテーマを設定し、グループ内での討論内容をまとめて、発表させる。

発表時間は1グループ30分割り当て、メンバーが均等に発表する。  
質問時間は15分割り当てられている。  
したがって、1回の授業では2グループのみ発表。

発表の順番は、代表者のじゃんけんで、勝ったものの順に順番を選ぶ。

他のグループのメンバーには、発表に対して、コメントを書いて、提出させる。

最後に、全体で討論。同時にレポートを提出させる。  
討論の進行役は、学生の中から選ぶ。

レポートは1000字以上、6000字以下。  
1回目のレポートの添削の後、レポートの書き方について、コメントする。

## 授業の進め方(2)

- オペラの鑑賞: テーマとあらすじの説明⇒鑑賞(オペラ鑑賞は2週にわたります)
- 4人一組(または3人一組)のグループで、オペラをテーマに沿って調査し、発表する。  
(オペラ鑑賞の翌週から発表なので、発表のテーマ設定や調査はオペラ鑑賞が始まった週から準備すること: あらすじを参考にしてもよい)
- 発表に対するコメントを記入: 記入されたコメントはまとめて討論時に配布
- レポート: オペラについて調査したことを基にレポートを提出。(討論の日に提出)
- 討論: 鑑賞したオペラ、テーマ、調査した内容をもとに討論をする。(司会は、学生の中から選ぶ)
- 以上を3回繰り返します。

# 発表に対するコメント

グループ発表コメント

学籍番号

氏名

月

日

---

発表グループ名

\_\_\_\_\_  
テーマについて

パワーポイントについて

ストーリーの組み立て方

プレゼンテーション全体について

# レポートについて

- 必ず導入をいれる: 例えば「はじめに」など
- 導入には、そのテーマ(題目)を選んだ理由などを書く。
- テーマの提示: レポートの題名に関し、これから展開しようとする基本テーマの提示。
- 展開: 自分の考えをテーマに沿って展開。
- まとめ: 全体のまとめ。
- 参考文献: 参考にした書物やURLを提示。